

令和5年度
事業報告書

社会福祉法人守山市社会福祉協議会

目 次

I	事業の総括	1
II	事項別事業	2
1	法人の運営	2
2	善意銀行の運営	8
3	基金の運用	9
4	共同募金運動の推進	9
5	小地域福祉活動の推進	10
6	サロン活動	18
7	ボランティア活動の推進	20
8	地域福祉権利擁護事業	27
9	貸付資金等相談事業	28
10	介護保険等事業の実施	29
11	障害者自立支援事業	31
12	中部地区地域包括支援センターの受託	31

令和5年度 社会福祉法人守山市社会福祉協議会 事業報告書

I 事業の総括

令和5年度は、「つながり 支え合って ともに生きるまちづくり」を基本理念とする第4次守山市地域福祉活動計画の2年目として、「地域共生社会」実現に向け、関係機関・団体の皆さんと連携しながら、市社協職員が積極的に地域に出て、地域福祉部、介護事業部、中部地域包括支援センターがしっかりと連携し、各事業の推進に取り組みました。

3年余りに及ぶ新型コロナウイルス感染症のため地域の活動にも大きな影響を受けましたが、5類への変更と感染状況が落ち着きを見せてきたことから、地域での活動や多くのボランティア団体が徐々に活動を再開してきました。一方で、燃料高騰や物価上昇等により生活困窮状態にある方の相談は依然として続いており、8050問題や孤独死等、制度のはざまにあって課題が複雑化、多様化、潜在化しています。

市社協は、市民一人ひとりが、日々ともにつながり、楽しみや生きがいを見出し、生活上の様々な困難を抱えた場合でも、社会から孤立せず、安心してその人らしい生活をめざすことに心掛けました。

地域福祉部では、生活困窮者支援として、コロナ禍に生活福祉資金特例貸付を利用された方へのフォローアップ事業を始めました。滋賀県社協が事前訪問し状況が掴めなかった世帯に対し、職員が訪問し現状把握、相談に応じています。また生活困窮者の緊急時に備え、常時食料が提供できるよう緊急食糧等提供事業を始めました。福祉教育の推進では、市内小・中学校を対象に福祉活動推進校の指定事業を始めました。令和5年度は、5校を指定させていただき、福祉教育の授業内容や企画について一緒に考えました。また、指定校の中からご協力いただき、子ども福祉委員の取組を始めました。子育て支援では、令和4年度から開始した子育て応援フォーラムをより身近な地域での開催として2つの学区で実施するとともに、市域全体として市役所でも開催し、実行委員会に参加する子育て支援グループの皆さんとともに「みんなで子育て大作戦」に取り組みました。

広報活動では、広報誌「もりやま社協だより」やSNS（フェイスブック、インスタグラム、エックス）のほか、川柳・写真を公募する社協ほっと♡ホット福祉大賞の実施を通じて、市社協の取組にご理解をいただけるよう努めました。

介護事業部では、職員採用や人事異動を行い、地域の多様な専門的ニーズに対応することができました。また、コロナ禍での経験を活かし、感染症発生時や自然災害などの緊急時にも事業が継続できよう計画を策定し、サービス提供ができる体制にすることができました。

通所介護事業は、事業所の特長の一つである看護職員の複数名配置を継続することにより、重度の利用者の受入体制の強化を図るとともに個別機能訓練についても訓練計画を見直し、評価と計画の進捗状況を利用者にわかりやすく説明できるようになりました。また、これらの仕組みをパンフレットに掲載し市内の居宅介護支援事業所に伝えさせていただき、新規利用者の増加につながりました。

認知症通所介護事業は、4月から利用者数が少ない日曜日を定休日とし、効率的な運営を進めることができました。必要に応じて他部署の協力を得て、一日の活動の内容を低下させないよう運営しています。家族支援では、利用者宅を訪問して利用者の様子を伝え、ご家族の要望などを伺うとともに、自宅での口腔ケアの実施状況を確認し必要なアドバイスを行うことができました。

居宅介護支援事業は、利用者のご家族、病院、地域包括支援センターなどから継続的に新規の依頼を受けるとともに、重度の利用者の支援を増やすため病院へ定期的に訪問し情報収集や相談を行うことにより、利用者数も増えてきました。また、R6年度の介護報酬改定により担当できる利用者数が増える見込みであり、より地域での貢献ができるようになります。

訪問介護事業は、職員の介護力向上のため、サービス提供責任者の同行訪問や事業所内での利用者ごとのカンファレンス、個々の介護の方法やコミュニケーションなどの勉強会を実施しました。事業所全体の介護力が向上できたことにより、市内の居宅介護支援事業所から要介護度の高い利用者の依頼が増加し、また、急な体調変化による支援内容の変更などにも対応が可能となりました。

訪問看護事業所は、理学療法士を新規採用し、訪問リハビリを開始することができました。開始直後から順調に利用者数が増え、訪問件数も計画を上回っています。また、リハビリ専門職が入職したことにより在宅療養の

中での機能訓練や評価がより専門的な知識に基づいたものとなり、利用者サービスの向上につながりました。業務の効率化を推進するため、職員全員がスマートフォンやタブレット端末を使用し記録や実績入力できるソフトを導入し、記録物を電子化し利用者情報の集約を図りました。大きな混乱なく移行でき、緊急時にも端末より情報確認が可能となりまた、訪問の合間の時間の有効活用や業務の改善につながりました。

中部地区地域包括支援センターでは、「地域の生きた声を聞く」を重点目標に活動しました。地域での会議や出前講座などあらゆる機会に地域の方の声を聞き、地域の課題と不足する社会資源について検討を行いました。特にケースを通して、高齢者のペット飼育問題・多頭飼育崩壊について他機関との連携・協議を進めました。

守山市と令和6年度から4年間の長期契約を締結し、認知症地域支援専門員等の増員による体制強化を進め地域の課題に引き続き取り込んでいきます。

II 事項別事業

1 法人の運営

(1) 組織の運営

ア 理事会

年月日	協議事項
令和5年6月7日(水) 理事12名出席 監事2名出席	議第10号 令和4年度事業報告ならびに決算の承認について 議第11号 評議員選任候補者の推薦について 議第12号 理事および監事候補者の選出について 議第13号 定時評議員会の開催について
令和5年6月22日(木) 理事13名出席 監事1名出席	議第14号 社会福祉法人守山市社会福祉協議会会長、副会長ならびに常務理事の選定について 議第15号 社会福祉法人守山市社会福祉協議会顧問の委嘱につき同意を求めることについて
令和6年3月6日(水) 理事8名出席 監事1名出席	議第1号 令和5年度社会福祉事業会計補正予算第1号 議第2号 令和6年度事業計画について 議第3号 令和6年度社会福祉事業会計予算について 議第4号 令和6年度公益事業会計予算について 議第5号 評議員候補者の推薦について 議第6号 令和6年度役員等賠償責任保険への加入について 議第7号 経理規程の一部改正について 議第8号 評議員会の招集について

イ 監査の実施

年月日	協議事項
令和5年5月30日(火) 監事2名出席	令和4年度守山市社会福祉協議会事業報告 令和4年度守山市社会福祉協議会社会福祉事業会計決算 令和4年度守山市共同募金委員会事業報告 令和4年度守山市共同募金委員会会計決算 令和4年度守山市日本赤十字社滋賀県支部守山市地区決算

ウ 評議員会

年月日	協議事項
令和5年6月22日(木) 評議員18名出席 監事2名出席	議第6号 令和4年度事業報告ならびに会計決算の承認 議第7号 社会福祉法人守山市社会福祉協議会役員の選任について

令和6年3月18日(月) 評議員16名出席	議第1号 令和5年度社会福祉事業会計補正予算第1号 議第2号 令和6年度事業計画について 議第3号 令和6年度社会福祉事業会計予算について 議第4号 令和6年度公益事業会計予算について
--------------------------	---

エ 評議員選任・解任委員会

年月日	協議事項
令和5年6月7日(水)	評議員の選任について (決議の省略)
令和6年3月6日(水)	評議員の選任について (決議の省略)

(2) 運営管理

ア 経営会議の開催

構成	会長、副会長、顧問、事務局長、介護事業部長、地域支援課長、地域支援課長補佐、ボランティアセンター所長、総務課長、総務課長補佐、中部地区地域包括支援センター所長
開催頻度	原則月1回開催

イ 管理者会議

構成	会長、事務局長、介護事業部長、地域支援課長、地域支援課長補佐、ボランティアセンター所長、総務課長、総務課長補佐、中部地区地域包括支援センター所長
開催頻度	原則月1回開催

ウ 第三者委員会

年月日	内容
令和5年4月27日(木) 委員4名出席	令和4年度各事業の事例報告

エ 研修等の実施

[職員職場内研修]

実施日	参加者数	内容
令和5年8月17日(木)	39名	健康教室「なぜ睡眠が大切？パフォーマンスを向上させる睡眠改善セミナー」 講師：(株)ドクタートラスト 保健師 横野 凌 氏
令和5年9月22日(金)	22名	「社協とは何か～地域から頼りにされる社協職員を目指して～」 講師：龍谷大学社会学部現代福祉学科 特任教授 山口浩次 氏
令和5年11月1日(水)	19名	人権研修「身近な人権問題について考える」 講師：女性の法律事務所パール 大野聡子弁護士
令和6年3月8日(金)	19名	個人情報保護研修 ～個人情報を取り巻く時代の変化～ 講師：新谷労務管理事務所 社会保険労務士 新谷文孝 氏

※参加者数は対面参加者数。当日動画を撮り後日全職員が視聴できるようにした。

(3) 広報活動

ア 広報誌「もりやま社協だより」の発行

引き続き、「社協だよりを一人でも多くの方に手に取っていただきたい」を基本に、各記事の目的を明確に、分かりやすく、インパクトある誌面づくりに努めました。中でも特集記事を毎号企画し、社協事業の啓発に注力しました。

- ・発行部数：7月 31,150部、10月・1月・4月 31,650部 それぞれ第2木曜
- ・規格：A4サイズ、両面印刷12ページ、2色刷り(表紙および裏表紙はフルカラー)

号 数	主な内容
第121号 (令和5年7月)	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時には、災害ボランティアセンターの運営を市社協が担います ・守山市社協 令和4年度事業報告・決算報告 ・会長バトンタッチ ・子どもの育ち応援募金へのご協力ありがとうございました ・特別賛助会費・福祉施設会費・団体会費納入のお願い ・地域ぐるみの見守り支えあい活動協力事業者募集 ・守山市社協事務局 新入職員紹介/・「もりやま社協だより」についてご意見・ご感想をお聞かせください
第122号 (令和5年10月)	<ul style="list-style-type: none"> ・「善意銀行」にご寄付いただけませんか？ ・社協ほっと♡ホット福祉大賞2023入賞作品決定、 ・守山市社協会長表彰/・令和5年度もりやま地域共生大会開催 ・赤い羽根共同募金が始まります ・子ども福祉委員の活動が始まりました/・歳末たすけあい激励金/・ふとん丸洗いサービスのご案内 ・赤い羽根チャレンジ応援事業応募団体募集/・令和5年度守山市社協 特別賛助会費・福祉施設会費・福祉関係団体へのご協力ありがとうございます ・シニア応援連続講座のご案内 ・『cocomama親の会』紹介
第123号 (令和6年1月)	<ul style="list-style-type: none"> ・2024私からのメッセージ ・ご紹介します 守山市地域包括支援センター ・令和5年度 赤い羽根共同募金 歳末たすけあい募金ご協力ありがとうございました ・赤い羽根チャレンジ応援事業活動中/・子どもの育ち応援募金助成事業 /・共同募金協賛事業/・福祉車両の貸出が充実しました ・守山市社協事務局一同 本年もよろしくおねがいいたします/・令和5年度守山市社協会員紹介
第124号 (令和6年4月)	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員は、「身近な相談相手」「支援へのつなぎ役」です ・社協ほっと♡ホット福祉大賞2024作品募集 ・令和5年度赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金実績報告 ・ご存じですか？「在宅介護者のつどい」/・令和6年度ボランティア活動保険・ボランティア行事用保険のご案内 ・令和6年度守山市社協 事業予算 ・令和6年度社協会員および日赤活動資金募集案内/・能登半島地震災害ボランティア派遣レポート ・ひとり親家庭の居場所「ひまわりカフェ」に「きらきら星サロン」がやってきた ・社協心配ごと相談専用ダイヤルのご案内

※通年コーナーとして、子育てサロン紹介、子ども食堂紹介、Care News (ケアニュース)、人・ひと・ヒト、善意銀行だより、フォトスケッチ、簡単スピードクッキング、チャレンジクイズ

イ インターネットホームページの充実

より市民に安心してご覧いただけるよう、セキュリティを強化しました。また令和4年度から本格的に稼働したSNSと連携が容易にできるよう、機能強化を行いました。(単位：件)

年度	実閲覧数	(内訳)		
		パソコン	モバイル端末	タブレット
R1	18,618(100%)	8,930(48%)	8,881(48%)	807(4%)
R2	22,379(100%)	11,312(51%)	10,469(47%)	598(2%)
R3	23,546(100%)	12,023(51%)	11,057(47%)	466(2%)
R4	27,404(100%)	13,202(48%)	13,785(50%)	417(2%)
R5	30,247(100%)	13,675(45%)	16,244(54%)	328(1%)
R5-R4比較	2,843	473	2,459	△89

※R5はR5.7.1以降集計アプリの仕様変更により推計値とする。

①R5.4～6：実閲覧数6,616、パソコン2,911、モバイル3,609、タブレット96

②R5.7～：＃ 23,631、＃ 10,764、モバイル12,635、タブレット232の単純合計

ウ SNSの開設

より幅広い年代の方々に情報を届けるため、フェイスブックページ、インスタグラムおよびツイッターを通じて、タイムリーな情報発信に努めました。

[開設日、フォロワー数]

SNS種別	フェイスブック	インスタグラム	エックス
開設日	R3.6.9	R3.11.15	R4.1.10

フォロワー	フェイスブック	インスタグラム	エックス	合計
R4.3.31	104	60	5	169
R5.3.31	152	449	306	907
R6.3.31	184	826	527	1,537
R5-R6増減	32	377	221	630

[URL等]

フェイスブック	インスタグラム	エックス
https://www.facebook.com/moriyamashakyo	https://www.instagram.com/moriyamashakyo/	https://twitter.com/moriyamashakyo
 facebook	 Instagram	 X

エ 社協啓発冊子の作成

- ・令和4年度事業報告・決算書の作成 100部 A4版・147頁
- ・令和5年度事業計画・予算書の作成 200部 A4版・75頁

カ 社協ほっとのホット福祉大賞

地域福祉に関する心温まる写真や川柳を募集し、すぐれた作品を表彰し、また作品を展示して多くの方に鑑賞していただくことで、地域福祉に対する理解の推進につなげることを目的に実施しました。

本テーマに3つのサブテーマを示すことで、より分かりやすくし、広い世代の方々に参加の楽しみを感じていただけるよう努めました。

(募集)

チラシを全戸配付および保育園幼稚園こども園に配付、ウェブでも受け付けを行いました。

	川柳部門	写真部門
R1	応募 76名・147作品	応募 16名・29作品
R2	応募 74名・100作品	応募 49名・76作品
R3	応募 74名・191作品	応募 59名・91作品
R4	応募113名・270作品	応募 85名・132作品
R5	応募124名・354作品	応募 97名・173作品

(選考)

特別審査委員により1次選考を行い、40作品に絞り込み、会長、副会長、顧問、特別審査委員、外部審査委員5名による選考委員会を開催し、各部門から最優秀賞1点、優秀賞2点、入選3点、特別審査委員賞1点、ホッととしたで賞5点を選出。その後地域福祉推進員より、はあーと賞1点、市民児協よりミンジー賞1点が選出されました。

選考委員会	令和5年 8月28日(木) 9:30~11:00	特別審査委員 外部審査委員	写真部門：水越 貞範氏 川柳部門：笠川 嘉一氏 小林 愛理氏、辻 ひとみ氏、木戸脇光 里氏、成瀬 和子氏、戸梶 敦氏
-------	--------------------------------	------------------	---

(作品展示)

本年度も5日間の期間を設け、作品展示会を開催しました。展示会場内では、募金活動の一環として、事業の財源である共同募金啓発グッズの販売も行いました。

また、入賞作品ポスターを作成し、JR守山駅構内、市民病院、守山市役所をはじめとした公共施設、市内の大型店舗など約40カ所へ設置していただきました。

社協ほっと♡ホット福祉大賞 作品展示会	令和5年 11月19日(日)~23日(木・祝)	守山市民ホール小ホールおよび 展示室
(内容) ・応募全作品の展示、・共同募金コーナー設置		

(5) 顕彰

選考委員会	令和5年 8月17日(木)	審査委員：市社協会長、学区社協代表者、市民児協代表者、 福祉関係施設代表者、市福祉事務所代表者
-------	------------------	--

ア 社会福祉協議会会長表彰・感謝

- ・社会福祉功労 (28件)
- ・感謝 (特別感謝1件 感謝4件)

イ 社協ほっと♡ホット福祉大賞

- ・写真部門 (14件)
- ・川柳部門 (14件)

(6) 会員の加入促進と財源確保

ア 会費収納実績 (単位：円)

区分	一般会費	施設会費	団体会費	賛助会費	特別賛助会費	計
H30	3,378,800	61,000	30,000	3,116,900	685,000	7,271,700
R1	3,273,875	54,000	30,000	2,968,000	850,000	7,170,875
R2	3,335,527	64,000	30,000	3,004,000	915,000	7,348,527
R3	3,350,280	80,000	26,000	2,955,000	905,000	7,316,280
R4	3,307,662	61,000	23,000	2,717,000	830,000	6,938,662
R5	3,244,669	69,000	29,000	2,655,000	755,000	6,752,669
R5-R4比較	△62,993	8,000	6,000	△62,000	△75,000	△185,993

イ 賛助会員の加入状況 (単位：口)

学区	守山	吉身	小津	玉津	河西	速野	中洲	他	計
R1	272	311	530	288	967	356	198	46	2,968
R2	258	265	514	302	1,005	432	134	94	3,004
R3	287	286	539	308	954	375	104	102	2,955
R4	268	286	466	283	941	357	102	14	2,717
R5	278	276	458	267	942	328	102	4	2,655
R5-R4比較	10	△10	△8	△16	1	△29	0	△10	△62

ウ 社協だより広告収入

学区	広告枠	掲載枠	充足率	申込件数	計
R1	48枠	48枠	106%	46件	510,000円
R2	48枠	48枠	100%	44件	480,000円
R3	48枠	51枠	106%	41件	510,000円
R4	48枠	48枠	100%	36件	480,000円
R5	48枠	48枠	100%	36件	480,000円

エ 会員ステッカーの作成

特別賛助会員、施設会員向けに会員ステッカーを作成し、会員の拡充に努めました。

年度	R1	R2	R3	R4	R5
事業所	132件	134件	131件	123件	112件
施設	24件	23件	33件	23件	30件
合計	156件	157件	164件	146件	142件

(7) 災害義援金および海外救援金の受付および送金

ホームページ等で受付口座等の情報提供を行い、また募金箱を事務所に設置しました。

とりわけ、令和6年能登半島地震災害義援金は市公共施設での募金箱、窓口での受付は日本赤十字社に統一して実施しました。

ア 災害義援金

災害義援金の名称	金額(円)	取り扱い
令和5年5月能登地方地震	1,531	共同募金
令和5年台風第2号	1,600	共同募金
令和5年台風第13号	1,914	共同募金
令和5年6・7月大雨	5,510	共同募金
令和6年度能登半島地震(R6.3.31時点)	4,624,134	日本赤十字社 4,508,037 共同募金 116,097

※能登半島地震は市内各所に募金箱設置し、募金先を日本赤十字社に統一して実施。共同募金は共同募金会を指定された場合のみ送金。日本赤十字社は他の義援金は募金箱を設置していない。

イ 日本赤十字社海外救援金

海外救援金の名称	金額(円)	備考
ウクライナ人道危機救援金	217,649	
2023年トルコ・シリア地震救援金	443,786	

(8) その他の活動

ア 学生、社会人等の実習の受入れ

受入部署	件数	人数	実習名等
地域福祉部門	2校	2名	社会福祉士受験資格実習
居宅介護支援事業所	1件	1名	介護支援専門員実務研修事業所実習
訪問看護事業所	4件	14名	看護学校学生訪問看護実習

イ 日本赤十字社滋賀県支部守山市地区の運営

活動資金の募集を行うとともに、赤十字奉仕団の会議や研修会等に参加しました。

ウ 戦没者追悼法要事業への助成

戦没者遺族会主催の追悼事業へ助成を行いました。

2 善意銀行の運営

寄附者の意思に沿って、福祉のために活用（運用）することを目的とした制度で、温かい善意（寄附）を預託として受け入れ、払い出しを行いました。また、もりやま社協だよりに「善意銀行だより」コーナーを設けご紹介しました。

ア 預託状況

[金員]

年度	一般寄附		指定寄附		寄附物品の 金銭換算		計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
R1	66件	1,055,998	1件	100,000	5件	387,400	72件	1,543,398
R2	83件	1,265,999	9件	250,000	1件	326,400	93件	1,842,399
R3	87件	2,423,833	8件	904,500	1件	152,400	96件	3,480,733
R4	74件	2,432,560	8件	1,688,000	2件	154,000	84件	4,274,560
R5	48件	1,208,956	8件	665,978	1件	61,600	57件	1,936,534

[物品]

年度	件数	備 考
R1	83件	米、野菜、食料品、日用品など
R2	108件	米、野菜、食料品、衣類、日用品など
R3	176件	米、野菜、食料品、衣類、日用品など
R4	168件	米、野菜、食料品、衣類、日用品など
R5	187件	米、野菜、果物、食品、おむつ、衣類、日用品、寝具、金券、小型家電など

イ 払出状況

[金員]

(単位：円)

事業項目	R1	R2	R3	R4	R5	件数
寄附者による用途指定 寄附による払出し	40,000	250,000	485,000	2,108,000	665,978	30件
寄附物品の金銭換算	387,400	326,400	152,400	154,000	61,600	1件
全国健康福祉祭 参加者激励金贈呈	22,000	新型コロナ で大会中止	新型コロナ で大会中止	14,000	14,000	7件
守山学園生卒園小学校 入学祝品贈呈	42,561	33,300	17,160	35,640	21,150	3件
火災見舞金支給	50,000	0	50,000	80,000	50,000	2件
善銀だより広報分担	522,000	240,000	240,000	240,000	240,000	—
生活困窮世帯食糧提供	—	—	—	—	108,250	2件
単位民児協支援資金	20,000	0	14,000	55,000	15,000	—
学区社協活動助成	—	570,000	570,000	700,000	700,000	—
子ども食堂実践者交流	—	—	—	20,825	—	—
自治会健康福祉部会 設置・充実助成	—	—	—	—	630,000	—
その他事業	87,598	243,820	171,211	—	—	—

[物品]

払出先	件数	内容
生活困窮世帯	101	食品、おむつ、衣類、日用品、文具、寝具など
子ども食堂	56	米、野菜、果物、お菓子などの食品、日用品、雑貨など
福祉施設	120	米、野菜、果物、お菓子などの食品、米粉、おむつ、衣類、日用品、雑貨、文具、書籍、寝具、赤ちゃん用品、金券各種、食器類、小型家電、自転車など
その他団体等	29	米、野菜、お菓子などの食品、車いす、おむつ、日用品、雑貨、文具、金券各種、食器類、小型家電、すべり台など
善意のひろば		おむつ、衣類、日用品、雑貨、文具、書籍、寝具、赤ちゃん用品など
計	306件	

3 基金の運用

福祉基金およびボランティア基金の運用益を地域福祉事業、ボランティア活動事業に充てました。
また、守山ほたるの子基金の一部を取り崩して、ひきこもり支援等の事業に充てました。

ア 基金利息	66,388円
イ 基金残高	
・福祉基金	105,194,115円
・ボランティア基金	57,063,418円
・中村一彦・鈴子守山ほたるの子基金	5,098,901円 (取崩額 546,400円)

4 共同募金運動の推進

滋賀県共同募金会守山市共同募金委員会事務局として運動の推進にあたりました。

(単位:円、%)

募金種別	R5			R4	対前年度比
	目標額	実績額	目標達成率	実績額	
一般募金	9,700,000	9,596,630	98.9	9,722,564	98.7
歳末たすけあい募金	3,150,000	2,861,599	90.8	2,964,477	96.5
子どもの育ち応援募金	500,000	591,289	118.3	641,839	92.1
計	13,350,000	13,049,518	97.7	13,334,880	97.9

[募金方法別実績]

(単位:円)

募金種別	一般募金	歳末募金	テーマ型	合計
戸別募金	7,565,779	2,734,132	106,500	10,406,411
街頭募金	269,009	25,519	5,157	299,685
法人・施設・団体・職域募金	536,990	88,670	226,968	852,628
学校募金	116,174	0	0	116,174
イベント募金	88,615	0	0	88,615
個人募金	145,268	3,278	59,222	207,768
その他募金	874,795	10,000	193,442	1,078,237
合計	9,596,630	2,861,599	591,289	13,049,518

[配分実績]

(単位：円)

配分先	一般募金	歳末たすけあい募金	合計	事業内容
守山市社会福祉協議会	2,849,862	1,309,943	4,159,805	社協ほっとのホット福祉大賞 地域共生大会 多様な主体による居場所づくり 災害VC体制整備 ボランティアグループへの助成 生活支援ボランティア活動 福祉活動推進校設置 地域福祉活動計画の推進 いきいき活動（シニア応援） ホームページ・SNSの運営 歳末たすけあい激励金の交付 ひとり暮らし高齢者への年賀状送付 ふとん丸洗いサービス
自治会および学区社会福祉協議会	2,956,464	350,000	3,306,464	社協だより配付に伴う学区交付金助成 学区社協活動補助 学区社協課題解決活動助成 自治会子育てサロン助成 学区社協共同募金運動啓発費 学区社協歳末活動助成
ボランティアグループ および福祉関係団体	359,590	0	359,590	ボランティアグループ6団体、福祉関係団体3団体に助成
計	6,165,916	1,659,943	7,825,859	

[滋賀県共同募金会助成事業]

公募型助成事業 「赤い羽根チャレンジ 応援事業」	400,000	公募型助成事業。公開プレゼンテーションを経て、審査委員会により採択された2事業（2団体）に対して助成
--------------------------------	---------	--

[テーマ型募金]

子どもの育ち応援募金	654,961	子育て応援フォーラムの開催（3回）、子ども福祉委員事業（計5回の活動を実施）、飛び出しもりぴーの配付（今年度新たに60本作成、105本配付）
------------	---------	--

5 小地域福祉活動の推進

(1) 地域づくり事業

市の委託を受けて、地域共生社会の実現に向けた地域づくりを進めています。

地域の様々な関係機関が分野を超えてつながる場づくりの推進、福祉活動の「支え手」と「受け手」という一方的な関係ではなく、お互いに支え合い、生きがいと地域の出番づくり事業を推進することを進めます。

ア 自治会健康福祉部会設置および活動充実強化事業費助成金の交付

	R1	R2	R3	R4	R5
自治会	14	17	16	21	22
交付額（円）	380,000	470,000	460,000	590,000	630,000

イ 見守り支え合い活動事業助成金の交付

	R1	R2	R3	R4	R5
実施団体	6学区 34自治会	5学区 34自治会	4学区 38自治会	4学区 38自治会	4学区 40自治会
交付額(円)	1,944,200	1,665,800	2,122,200	2,172,800	2,116,000

ウ 地域ぐるみ見守り支え合い活動登録事業（見守り協定）の推進

高齢者や子ども、障がい者等に接する機会の多い事業者と連携することで、地域での異変等を早期に発見し、関係機関等へ適切につなぐことで、孤立死や虐待、消費者被害等を未然に防ぎ、地域ぐるみの見守り支え合い活動の輪を充実しています。

- ・令和5年度登録件数：1事業者（総登録件数20件）

エ ボランティア団体への支援

湖南ホームタウンと連携し、各ボランティア団体へアンケートを実施し、活動に対する課題や希望する支援を調査した。その結果、「活動をPRする啓発媒体がない」や「加入者が少ない」といった課題が見られたので、活動を取材しPR動画を作成した。

1団体：おりがみグループ

(2) 生活支援体制整備事業（市受託事業）

地域住民による支え合いの体制づくりを促進する事業に取り組みました。

ア 協議体の設置および取組実績

・第1層協議体

所管地域	協議体名	実績
市域全体	守山の福祉のまちづくりを考える会	会議開催なし（今後必要に応じて開催）

・第2層協議体

所管地域	協議体名	実績
守山学区	学区社協総務部会	なかなか事業が推進できない中、令和6年度に「男性の料理教室」を開始することになり、これに向けた調整を進められた。
吉身学区	助け愛よしみ	令和4年1月に開始した「ごみ出しボランティア」の利用が少なく、民福自の合同研修で周知を図った。
小津学区	小津あんしんネット	個別支援の実施は難しいと判断し、令和6年度から、高齢者サロン等の取り組み方の見直しを検討することになった。
玉津学区	玉津支え愛プロジェクト	令和元年度から検討してきた地域住民による移動サービス「地域支え愛送迎活動」を令和6年3月に開始した。
河西学区	学区社協重点項目検討委員会	令和3年9月に開始した生活支援ボランティア「ささえ愛ネット河西」は、順調に取り組むことができている。
速野学区	地域支援ネットワーク委員会	速野会館に北部図書館が併設されたこともあり、毎週開催の居場所「みんなのリビング」の参加者が増えている。
中洲学区	中洲学区21活動協議会	令和6年度に学区地域福祉活動計画の作成を進める中で、今後の事業の取組内容や体制等を見直していく予定となった。

- イ 生活支援コーディネーターの配置
 - ・第1層協議体：1名（本会職員）
 - ・第2層協議体：7名（各学区の地域福祉推進員が兼務）

- ウ 生活支援コーディネーター会議（地域福祉推進会議）の開催
原則として毎月第三金曜日の午後に会議を開催し、各協議体の情報共有を図りました。

- エ 守山市生活支援サービス一覧の作成
本会ホームページで公開し随時更新しています。（令和5年度は更新2回）

(3) 第4次守山市地域福祉活動計画の進捗確認

令和4年度から推進している第4次守山市地域福祉活動計画の進捗確認を行うため、守山市地域福祉活動推進委員会を開催しました。

開催日時	参加者	内容
令和6年 3月12日(火) 14:00～15:30	委員 11人 事務局 7人	【第4次守山市地域福祉活動計画の進捗状況について】 計画期間のうち、令和4・5年度を前期、令和6・7年度を後期とし、前期の取り組み状況と後期に向けた課題等の報告を行いました。後期も引き続き計画の推進に努めます。

(4) 地域福祉推進員の活動推進

地域づくりの推進と学区社協活動の活性化を図るため、学区社協会長から推薦を受けた地域福祉推進員と各会館福祉担当コーディネーターと合同の連絡会議（地域福祉推進会議）を開催し、各学区社協の活動状況等を共有しました。

開催日	内容
4/21(金)、5/19(金)、6/16(金)、7/21(金)、8/18(金)、9/15(金)、10/20(金)、11/17(金)、12/15(金)、1/19(金)、2/16(金)、3/15(金)	【毎回】 ・各学区社協の取り組みトピックス 【その他】 ・学区社協への助成金について ・学区社協・市社協懇談会について ・福祉協力員推薦依頼について ・もりやま地域共生大会について

(5) 福祉協力員の活動推進

より身近な地域（自治会）での福祉活動を推進し、また学区社会福祉協議会の一員として学区の福祉を高めるため、福祉協力員を委嘱し、各地域で活動していただきました。

また、各学区社協に活動助成金（一人につき5,000円）を交付しました。

ア 学区別福祉協力員数

(単位：名)

学区	R1	R2	R3	R4	R5
守山	55	52	54	56	52
吉身	36	35	36	34	34
小津	44	43	44	42	44
玉津	24	25	25	27	27
河西	57	57	55	55	51
速野	28	28	32	32	32
中洲	13	14	14	14	14
計	257	254	260	260	254

イ 研修の開催ほか

学区ごとの連絡会において、5月から1月までの間に同じ内容で研修を実施しました。

テーマ：守山市の健康課題とその対策について ～健康に過ごすために～

講師：守山市地域包括支援センター職員

受講：145人(254人中)

福祉協力員だよりの発行（各学区の取組紹介など）

(6) 学区社協理事との懇談会の開催

毎年度、地域の生活課題を把握することを目的に、各学区社協理事等と懇談会を開催しました。

令和5年度のテーマは、「地域ぐるみの見守りを考えよう」とし、地域での平常時や災害時に備えての見守りについて意見交換を行いました。

学区	月 日	人数	内 容
守山	10月18日(水)	32名	1 地域ぐるみの見守りを考えよう 2 意見交換
吉身	9月7日(木)	27名	
小津	10月3日(火)	35名	
玉津	10月4日(水)	18名	
河西	10月11日(水)	36名	
速野	10月5日(木)	33名	
中洲	10月6日(金)	21名	

(7) 学区社協への助成・支援

ア 小地域福祉活動推進事業助成金

(ア) 学区割・自治会数割による助成金 1,400,000円(学区割10万円+自治会数割1万円)

(イ) 一般会費および賛助会費による助成金 2,839,830円 (単位:円)

学区	一般会費分 前年度の納入世帯数×90円		賛助会費分 前年度の納入額×1/2		計	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5
守山	421,920	418,320	143,500	134,000	565,420	552,320
吉身	310,230	305,460	143,000	143,000	453,230	448,460
小津	129,600	127,080	269,500	233,000	399,100	360,080
玉津	80,550	73,350	154,000	141,500	234,550	214,850
河西	281,700	279,180	477,000	470,500	758,700	749,680
速野	231,300	230,040	187,500	178,500	418,800	408,540
中洲	52,200	54,900	52,000	51,000	104,200	105,900
合計	1,507,500	1,488,330	1,426,500	1,351,500	2,934,000	2,839,830

イ 学区社会福祉協議会への助成実績一覧

(単位:円)

助成金項目	守山	吉身	小津	玉津
小地域福祉活動推進事業費	260,000	200,000	190,000	140,000
小地域福祉活動推進(一般会費還元)	418,320	305,460	127,080	73,350
小地域福祉活動推進(賛助会費還元)	134,000	143,000	233,000	141,500
福祉協力員活動事業	258,600	170,000	220,000	135,000
見守り支え合い活動	41,800	—	—	—
すこやかサロン	—	—	11,000	11,000
在宅介護者のつどい	34,000	58,000	40,000	40,000
ふれあいお楽しみ会	180,500	119,000	54,500	238,000
サロンボランティア活動講座	10,000	10,000	10,000	20,000
子育てサロン	—	—	—	—
社協だより配付交付金	291,700	188,200	68,400	58,700
第2層協議体活動	30,000	30,000	30,000	30,000
多世代交流サロン	—	—	—	—
課題解決事業	50,000	50,000	50,000	50,000
歳末事業	50,000	50,000	50,000	50,000
R5計	1,758,920	1,323,660	1,083,980	987,550
R4計	1,605,820	1,275,630	1,044,500	882,850

R3計	1,754,780	1,509,270	1,031,250	969,470
R2計	1,440,180	1,206,493	1,018,750	758,970
R1計	1,781,810	1,427,890	1,319,870	857,790

助成金項目	河西	速野	中洲	計
小地域福祉活動推進事業費	260,000	200,000	150,000	1,400,000
小地域福祉活動推進（一般会費還元）	279,180	230,040	54,900	1,488,330
小地域福祉活動推進（賛助会費還元）	470,500	178,500	51,000	1,351,500
福祉協力員活動事業	254,000	159,000	70,000	1,266,600
見守り支え合い活動	176,700	200,800	242,100	661,400
すこやかサロン	—	66,000	33,000	121,000
在宅介護者のつどい	—	64,000	36,000	272,000
ふれあいお楽しみ会	111,500	99,500	74,000	877,000
サロンボランティア活動講座	20,000	20,000	20,000	110,000
子育てサロン	—	—	40,000	40,000
社協だより配付交付金	153,200	116,100	44,700	921,000
第2層協議体活動	30,000	30,000	30,000	210,000
多世代交流サロン	—	—	30,000	30,000
課題解決事業	50,000	50,000	50,000	350,000
歳末事業	50,000	50,000	50,000	350,000
R5計	1,855,080	1,463,940	975,700	9,448,830
R4計	1,876,000	1,346,300	978,200	9,009,300
R3計	1,760,800	1,542,100	833,710	9,401,380
R2計	1,588,800	1,244,360	725,010	7,983,063
R1計	1,957,660	1,508,920	959,230	9,813,170

ウ 学区社協等事業への参加

(単位：回)

学区	合計	学区社協事業	福祉協力員事業	自治会
R1計	158	87	22	49
R2計	106	51	12	43
R3計	144	70	25	49
R4計	204	113	29	62
R5計	220	95	34	91
守山	22	9	3	10
吉身	27	13	4	10
小津	32	16	3	13
玉津	42	13	8	21
河西	23	11	5	7
速野	51	25	9	17
中洲	23	8	2	13

(8) もりやま地域共生大会の開催

住民に対して地域福祉の啓発を行うとともに、功績が顕著な社会福祉関係者や福祉活動の各般において積極的に協力、援助された方、団体に対して、表彰ならびに感謝状の贈呈を行いました。

今年度は、もりやまふれあいフェア実行委員会と協働で開催しました。

ア 開催日時・会場 令和5年11月23日（木・祝） 9:30～15:00 守山市民ホール小ホール

イ 会場別内容、参加者数

会場	内容	参加者数
守山市民ホール 小ホール	表彰式 ○表彰 ・自治振興 ・社会福祉功労 ○感謝 ・高額寄附者(善銀) ○社協ほっとのホット福祉大賞(川柳部門・写真部門) 福祉活動推進校の発表 守山小学校、小津小学校、市立守山中学校 コンサート フォークソンググループ 紙ひこうき	180人
守山市民ホール 展示室 ギャラリー	社協ほっとのホット福祉大賞 2023 作品展示会 共同募金グッズ販売・子ども食堂活動パネル展示 民生委員児童委員活動パネル展示・福祉協力員活動パネル展示 障害福祉事業所・障害福祉関係団体紹介パネル展示 障害福祉事業所物品販売・お楽しみ抽選会	

(9) 関係者との連携強化

地域づくりの推進と学区社協活動の活性化を図るため、学区社協会長より推薦を受けた地域福祉推進員と各会館福祉担当コーディネーターと合同の連絡会議(地域福祉推進会議)を開催し、各学区社協の活動状況等を共有しました。(再掲)

開催日	4/21(金)、5/19(金)、6/16(金)、7/21(金)、8/18(金)、9/15(金)、10/20(金)、11/17(金)、12/15(金)、1/19(金)、2/16(金)、3/15(金)
主な協議内容	【毎回】 ・各学区社協の取り組みトピックス 【その他】 ・学区社協への助成金について ・学区社協・市社協懇談会について ・福祉協力員推薦依頼について ・もりやま地域共生大会について

(10) 関係者と連携した取組

ア 民生委員・児童委員活動の支援および連携

- (ア) 市民児協役員会開催支援および出席(毎月1回)
- (イ) グループ活動支援および出席 3グループ(高齢者福祉、障がい児・者福祉、児童・家庭福祉)
- (ウ) 委員会等開催支援および出席 主任児童委員会(毎月1回)、組織運営強化委員会(毎月1回)、広報啓発委員会(随時)、研修委員会(随時)、タブレット導入に向けた検討会議(随時)
- (エ) 市民児協総会開催支援および出席

開催日	参加者	内容
令和5年5月26日(金)	137名	令和4年度 事業報告・決算・監査報告 令和5年度 事業計画・予算(案)

- (オ) 学区民児協定例会への出席 7学区へ毎月1回

カ) 福祉情報システムの運用

民生委員・児童委員は、見守りや友愛訪問活動の必要な方について、その方の状況や支援の内容を明確にするため、福祉票を作成しています。市社協は、その情報を福祉情報システムに入力、毎月更新し、緊急時等に適切に対応できるよう、情報の整理に努めました。

○福祉情報システム登録者数[延べ](各年度3月末の数値) (単位:人)

登録区分	R1	R2	R3	R4	R5
A ひとり親家庭	49	52	52	90	87
B ひとり暮らし高齢者	1,378	1,433	1,474	1,107	1,202
C 昼間のひとり暮らし高齢者	196	235	252	294	285
D 要介護3・4・5に認定された人	277	290	301	350	327
E 要支援障害者のいる世帯	333	340	349	551	553
F 高齢者のみの世帯	2,114	2,269	2,303	1,776	1,809

G	その他見守りが必要な世帯	161	196	200	1,091	982
	計	4,508	4,815	4,931	5,259	5,245

※令和4年度から以下の通り区分を変更しています。

B：(定義) 65歳以上 ⇒ 75歳以上

C：(定義) 65歳以上 ⇒ 75歳以上

D：要介護高齢者のいる世帯 ⇒ 要介護3・4・5に認定された人

F：(定義) 70歳以上 ⇒ 75歳以上

(キ) 暮らしの安心メモ・命のバトンの設置および普及・啓発

緊急時や災害時に早く支援を受けられるよう、民生委員・児童委員とともに必要な世帯に設置し、また普及・啓発に努めました。

○学区別設置数(各年度3月末の数値)

(単位：人)

年度	守山	吉身	小津	玉津	河西	速野	中洲	計
R1	450	472	139	53	334	168	62	1,678
R2	425	458	133	55	365	163	68	1,667
R3	425	436	126	52	435	146	65	1,685
R4	431	443	132	82	436	136	60	1,720
R5	426	422	140	88	472	118	57	1,723

○普及・啓発

広報もりやま(5/15号)へ掲載

イ 介護者のつどいの充実に向けたアンケートの実施

地域住民により実施される高齢者福祉に関する取り組みの中で、介護者のつどいについては自治会でほとんど開催されない状況にあり、改善に向けた検討をするため民生委員に協力いただきアンケートを実施しました。

(ア) 実施時期 令和5年8月～12月

(イ) 回答者数 民生委員149名、在宅介護者(民生委員による聞き取り)242名

(ウ) 結果の要点 民生委員の半数以上が自治会域での実施の必要性を感じておられる。
介護者は学区・自治会を問わず同程度に参加したいと感じておられる。

ウ 要介護高齢者へのふとん丸洗いサービス事業

寝たきりの高齢者など要介護3以上の人を対象に、民生委員・児童委員からの案内等により、寝具の洗濯を実施しました。

(ア) 実施期間 令和5年12月4日(月)～12月15日(金)

(イ) 利用実績

(単位：件)

年度	R1	R2	R3	R4	R5
利用件数	30	32	30	38	39

※令和元年度から利用料を徴収

エ ひとり暮らし高齢者への年賀状送付

小学生からの心のこもった年賀状をひとり暮らし高齢者へ送付する事業を実施しました。

(ア) 協力機関 守山市民生委員児童委員協議会、守山市赤十字奉仕団、市内小学校

(イ) 送付数 1,217人(対象1,342人/民生委員・児童委員調べR5.9.1時点)

○小学校別送付数

(単位：人)

守山	物部	吉身	立入が丘	小津	玉津	河西	速野	中洲	計
248	103	171	94	113	64	281	102	41	1,217

オ 多世代交流サロン助成事業

地域住民が主体となって、高齢者や子どもなどが交流する居場所づくりに取り組む団体へ助成金(年3万円、令和7年度までの間に延べ3回まで)を交付しました。

(ア) 助成対象 学区社協、自治会、老人クラブ、子ども会

(イ) 交付実績

	R4	R5
学 区	1	1
自治会	6	9
老人クラブ	—	1
交付額 (円)	210,000	330,000

カ 歳末たすけあい激励金交付事業

生活福祉資金コロナ特例貸付の借受世帯や民生委員・児童委員が把握する低所得世帯などへ、年末に民生委員・児童委員に激励金(現金)を届けてもらいました。

	R1	R2	R3	R4	R5
交付 (世帯)	—	25	49	95	84
金額 (円)	—	154,000	708,000	950,000	840,000

キ ひまわりカフェ with きらきら星サロン

ひとり親家庭を対象に毎月開催される「ひまわりカフェ」と美容師がボランティアで子どもの髪をカットする「きらきら星サロン」をつないだイベントを実施しました。

実施日時	実 績
令和6年2月12日(月・振休) 9:30~14:00	参加者 15組37人(大人14人、子ども23人) 9:30~14:00 カフェ 9:30~12:00 カット(子ども23人)

ク フードパントリー

寄付された食品を生活困窮者などに無償提供する活動をしている「フードバンクびわ湖」と合同で食材を無料配布するフードパントリーを実施しました。

実施日時・場所	実 績
令和6年3月16日(土) 10:00~11:30 すこやかセンター玄関	対象 歳末たすけあい激励金交付者(84世帯) フードバンクびわ湖把握のひとり親世帯(50世帯) 実績 当日来場57世帯、後日来所10世帯 後日訪問19世帯のうち提供7世帯

(11) ひきこもり実態調査準備委員会

令和6年度にひきこもり実態調査を実施するにあたり、準備委員会を設置し、調査方法等について協議・検討しました。

開催日	参加者	内 容
令和5年8月23日(水)	8名	趣旨説明、調査対象や方法の検討等
令和5年9月20日(水)	8名	調査対象と方法を検討、調査項目について他事例を共有
令和5年10月30日(月)	9名	調査対象と方法を検討、調査項目の素案作成
令和5年12月4日(月)	3名	オンライン会議
令和5年12月21日(木)	6名	具体的な調査方法の検討、調査項目素案の確認
令和6年2月19日(月)	8名	調査項目の修正、準備委員会のまとめ

(12) ひきこもり者と家族が孤立しない地域支援体制づくり

ア 守山ほたるサポート事業(ひきこもり支援事業)

ひきこもりの人の社会参加を促すため、ボランティア活動等への参加を促進しました。

	R1	R2	R3	R4	R5
登録者(人)	11	12	11	13	17
活 動(回)	127	71	141	170	216

イ ほたるの広場

ひきこもりの人やその家族が安心して過ごすことができる居場所を開設しました。

(令和5年2月から実施)

- (ア) 日時 毎週火曜日の午後1時半から4時まで
- (イ) 場所 地域福祉活動センター (コミュハウス・ほたる)
- (ウ) 運営 ひきこもりサポーター (ボランティア)
- (エ) 内容 カードゲーム、お話し、筆談、調理体験、農業体験など

	R5
延べ参加者 (人)	136
開設回数 (回)	50

ウ 地域福祉活動センター (コミュハウス・ほたる) の活用

ほたるの広場を毎週火曜日に開設し、若者自立支援ボランティア Group 居場所の会「レリーフ」が毎週月曜日と水曜日に使用し、また不登校児とその親のためのグループ「cocomama」が月2回程度使用するなど、ひきこもり等に関連した支援を行う拠点となっています。

エ ひきこもり一斉電話相談

県社協が実施する県内一斉の電話相談に参画しました。

実施日	本会への相談	県内の相談	実施機関(本会含む)
令和5年9月14日(木)	0件	5件	7団体
令和5年9月15日(金)	0件	7件	7団体
令和6年2月9日(木)	0件	1件	7団体
令和6年2月10日(金)	0件	9件	8団体

実施時間は、各日とも10:00~18:00

オ 湖南地域ひきこもり者支援フォーラムの開催

ひきこもりに対する正しい理解を深め、身近な地域で当事者等を早期に把握し、適切な支援について共有することを目的に、湖南4市社協(草津、栗東、野洲、守山)で実行委員会を設置し、フォーラムを開催しました。

- (ア) 実行委員会 7/27(木)、10/6(金)、1/18(木)、3/15(金)

(イ) フォーラム

事業名	開催日時	参加者	内容
第5回 ひきこもり支援を 考えるフォーラム	令和6年 2月7日(水) 13:30~15:30	一般 69人 運営者 11人	講演：本人や家族の心情をどう理解し寄り添うのか ~「ひきこもり」から温かい地域づくりを考える~ 講師：KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 事務局長 上田 理香 氏

6 サロン活動

昨年度に続き、各事業とも新型コロナウイルス感染症により、活動を再開するかどうか、難しい判断が求められることとなりました。そのような中、新しい生活様式に沿った開催など工夫して実施をされる地域が増えました。

(1) 高齢者ふれあい交流事業「すこやかサロン」の実施と開催支援

・すこやかサロン実施状況

(単位：所・回・人・円)

実施区分		R1	R2	R3	R4	R5
学区社協	実施力所	4	2	3	4	4
	延回数	17	2	5	11	11
	延参加者 (高齢者)	699 (336)	115 (71)	165 (100)	313 (187)	337 (199)
	開催助成	187,000	22,000	47,240	121,000	121,000

自治会	実施カ所	70	40	49	62	68
	延回数	1,147	550	647	830	1,148
	延参加者 (高齢者)	24,147 (17,600)	8,613 (7,032)	9,441 (7,563)	13,552 (10,440)	18,849 (14,345)
	開催助成	5,068,574	2,171,349	2,615,126	3,521,155	4,362,913

(2) ふれあいお楽しみ会（ひとり暮らし高齢者のつどい）の開催

日頃、孤独になりがちな在宅のひとり暮らし高齢者等に、地域住民との交流の中で相互の人間関係を深め、社会参加の促進を図りました。

(単位：所・回・人・円)

区分	R1	R2	R3	R4	R5
実施学区	7	0	2	4	7
回数	9	0	2	4	8
延参加者数 (内高齢者)	930 (461)	0 (0)	124 (87)	199 (120)	478 (331)
開催助成	1,037,700	0	226,000	378,500	877,000

(3) 学区社協・自治会介護者のつどい開催助成

在宅介護者同士の交流の機会として、実施団体（学区社協、自治会）へ助成金を交付しました。

(単位：所・回・人・円)

実施区分		R1	R2	R3	R4	R5
学区社協	実施カ所	5	4	3	6	6
	実施回数	5	4	4	6	7
	参加者数 (介護者)	93 (39)	80 (27)	57 (25)	87 (28)	101 (38)
	助成額	229,600	159,100	152,500	218,000	272,000
自治会	実施カ所	3	1	1	2	2
	実施回数	4	2	2	3	3
	参加者数 (介護者)	71 (41)	34 (20)	37 (22)	57 (27)	62 (33)
	助成額	91,000	33,962	47,000	72,000	77,000

(4) サロンボランティアの活動支援

サロンのボランティアを対象として学区社協単位で実施されるサロンボランティア活動講座の開催を支援しました。

(単位：所・回・人・円)

区分	R1	R2	R3	R4	R5
実施学区	7	5	7	6	7
実施回数	11	7	8	10	11
延参加者数	319	195	202	239	261
助成額	110,000	70,000	80,000	100,000	110,000

(5) 自治会子育てサロンの推進

自治会等で実施される子育てサロンの開催を支援しました。

(単位：所・回・人・円)

区分	R1	R2	R3	R4	R5
実施カ所	38	37	36	37	37
延回数 (うち助成対象)	516 (405)	195 (180)	484 (223)	392 (336)	505 (347)
延参加者(ボランティア等含) (うち子どもと保護者)	11,590 (9,288)	13,618 (10,824)	5,701 (4,447)	7,801 (5,843)	8,387 (6,077)
助成額	1,122,500	530,000	597,500	823,534	913,214

7 ボランティア活動の推進

(1) ボランティアセンターの運営

ア 情報提供および啓発に関する事業

広報誌「もりやま社協だより」やフェイスブックなどのSNSでボランティア活動の普及、啓発に努めました。

イ 相談援助および調整・紹介

(ア) ボランティア登録状況

区 分	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
個人登録(人)	40	40	15	15	18
グループ登録(団体) 〈人数〉	71 〈2, 995〉	63 〈2, 928〉	61 〈1, 643〉	60 〈1, 544〉	59 〈1, 493〉
[内訳]					
イベント支援 (出演)	23	22	21	24	23
参加・体験支援	15	13	14	11	10
コミュニケーション支援	6	6	6	8	8
子育て・若者支援	11	7	7	5	5
普及・啓発	5	5	3	10	10
グループ活動 (生活支援含む)	11	10	10	2	3

(イ) ボランティア活動の派遣・相談状況

(単位：件)

区 分	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
自治会等地域行事での出演	99	15	21	43	84
福祉施設等での出演	47	1	8	15	38
福祉教育、体験指導	8	8	2	6	17
生活支援	28	15	23	36	38
施設支援	14	3	1	1	0
ボランティア活動をしたい	15	6	10	8	13
計	211	48	65	109	190

ウ 学習および交流支援に関する事業

(ア) ボランティア連絡協議会（団体会員19、個人会員8）との連携

役員会への出席（偶数月 第1木曜日）6回開催

(イ) 学校等の福祉教育・体験学習への支援

市内学校を対象に、学習内容の相談、講師の派遣や調整、福祉用具の貸与を行うなど、福祉教育や体験学習を支援しました。

依頼校	日時	内容
守山北中学校	令和5年10月6日(金) 14:30~15:20	全体講義「ボランティア」ってなあ〜に
	令和5年10月10日(火) 13:05~14:45	分野別講義①高齢者疑似体験について ②手話学習、聴導犬について ③障害スポーツについて
中洲小学校	令和5年12月7日(木) 13:50~15:25	車椅子体験(コース別体験)

(ウ) 福祉教育等貸出用物品の設置

物品名	数量	物品名	数量
車いす (自走・介助)	45台	点字マット	2枚
高齢者擬似体験セット	8セット	点字板	60枚
アイマスク	80枚	白杖	2本

(エ) 登録ボランティアグループ活動助成

	R1	R2	R3	R4	R5
助成グループ数	49	44	41	39	39
助成額 (円)	517,050	426,775	418,200	400,225	400,225
ボランティア連絡協議会	1	1	1	1	1
助成額 (円)	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000

エ ボランティア保険の加入手続き (当年度適用分)

(単位: 件)

種別	R1	R2	R3	R4	R5
ボランティア活動保険	148	123	110	138	170
ボランティア行食用保険	122	41	22	77	107
福祉サービス総合補償	9	6	3	7	7

オ 地域福祉活動推進用具(イベント機器)の貸出

(単位: 台、件)

機材名	保有台数	R1	R2	R3	R4	R5
ポップコーン機	7	43	2	5	8	20
綿菓子機	7	60	8	4	10	45
かき氷機	電動6 手動4	50	3	1	6	20
たこ焼き機	3	10	0	0	1	6
焼きそば機	4	36	2	2	13	14

(2) エコキャップ運動への参加

ペットボトルキャップを回収し、売却額の全額を JCVC(世界の子どもにワクチンを日本委員会)に寄付しました。

	R1	R2	R3	R4	R5
エコキャップ(kg)	4,477	4,279	4,252	4,145	4,553
ワクチンの数(個)	約2,238	約2,139	約2,126	約2,072	約2,276

※エコキャップ1個2.32gとしたところ、860個(1995.2g \approx 2kg)で1人分(20円)

(3) ボランティア活動に関する事業の実施

ア お話し相手ボランティア派遣事業(お話し相手ボランティア「やすらぎ」)

当該事業は活動20周年を迎え、市・県から推薦をいただき「令和5年度内閣府社会参加章」を受章しました。このことは、今後の継続した活動にあたり、活動者への励みとなりました。そして、活動者の個々のスキルアップをめざすため「ふりかえりの会の開催」を各班で試み、活動の強化を図りました。

また、活動者の高齢化等により今後の運営面を見据え「役員体制等のあり方の検討」について、役員会で協議を重ねるとともに、全活動者からの意見も取りまとめた結果、次年度より代表・副代表制と班体制は廃止し、活動にあたってのコーディネーターは事務局が担います。

	種 別	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
在宅	派遣件数(件)	315	32	168	275	294
	派遣人数(名)	606	65	237	482	556
施設	派遣件数(件)	483				
	派遣人数(名)	614				
ボランティア数(名)		65	62	46	43	38

※令和元年度をもって施設派遣は廃止

※対面活動は、毎月の役員会で協議し進めました。なお、自粛期間中は、市と協議しハガキや電話等での代替活動を実施しました。

(ア) 会員研修

日時・場所	参加者数	内 容
令和5年9月21日(木) 9:30~11:45 すこやかセンター 講習室	24名	講義：「傾聴で、いい関係づくり～助けあいのコミュニケーションの基本、傾聴の5つの意義」 講師：一般財団法人つながりの会代表理事、 元北海道教育大学講師、社会福祉士 主任介護支援専門員 栗野 真造 氏
令和6年2月26日(月) 13:30~16:00 すこやかセンター 講習室	30名	講義：「対人援助の基本・自分のことを知ろう」 講師：福井県立大学 看護福祉学部 社会福祉学科 教授 吉弘淳一 氏

(イ) 班別懇談会

班	実施日	参加者数
守山南	令和5年10月23日(月)	6名
守山北	令和5年10月23日(月)	6名
小津・玉津	令和5年10月19日(木)	7名
河西	令和5年10月25日(水)	9名
速野・中洲	令和5年10月16日(月)	4名

(ウ) インフルエンザ予防接種費用助成

ボランティア会員を対象に、インフルエンザ予防接種の費用に対して助成支援を行いました。

【助成実績】助成件数24件 助成金交付24,000円 (1,000円/人×24人)

イ 守山市福祉有償運送事業 (外出支援ボランティア「はあ〜と」)

介護保険制度の要支援1、2または総合事業の事業対象者の交通施策の隙間を埋めるべく、ボランティアにより医療機関への送迎支援を実施しました。

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
利用登録者(名)	34	23	24	22	22
利用件数(件)	330	283	244	167	126
ボランティア数(名)	12	10	9	8	8

ウ 広報点字版発行事業 (点訳グループ「きらら」)

市広報誌 (月2回) と市社協広報誌 (年4回) の点字版を作成し発行しました。

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
利用登録者(名)	7	6	5	5	5
ボランティア(名)	4	4	4	4	4

エ いきがい活動ポイント事業の実施

65歳以上の方が、地域貢献と社会参加を目的にしたボランティア活動を登録施設等で行い、付与されたポイントを施設利用券や商品券に換券または施設等へ寄付できる事業を実施しました。また、福祉施設などで実践されているボランティアグループに対して、当事業への参加を呼び掛け、登録増員に努めました。現在の登録者と受入施設に対して、次年度の登録更新を確認し、新たにボランティア依頼の内容を聞き取り、登録者の出番づくりの機会を促しました。

(ア) ボランティア登録状況 (各年度登録者・団体の累計) (単位：名・箇所)

	R1	R2	R3	R4	R5
個人	304	301	290	259	249
老人クラブ	3	3	3	2	2

令和4年度から令和5年度への登録更新：209名

年齢層別内訳 (単位：名)

年齢層	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	合計
人数	10	63	81	63	32	249

(イ) ボランティア活動受入施設 (単位：箇所)

施設別	R1	R2	R3	R4	R5
高齢者	32	32	31	31	29
子ども	28	29	28	25	26
障害者	6	6	6	4	4
その他	3	3	3	1	0
計	69	70	68	61	59

(ロ) 活動実績 (単位：件、個)

	R1	R2	R3	R4	R5
活動件数	2,487	1,415	1,503	1,742	2,235
スタンプ数	3,919	2,074	2,121	2,510	3,060

オ 福祉車両貸し出しお出かけ応援事業

本会保有の車いす対応車両を貸し出し、家族や知人による車いす使用者との外出を促進しました。

[利用状況]

	R1	R2	R3	R4	R5
利用者(人)	12	9	7	10	19
利用件数(件)	20	22	19	24	27

(4) ファミリー・サポート・センター事業の実施

子育て世帯等が、仕事と育児を両立するために育児援助を行うことにより、児童福祉の向上と地域住民とのつながりが深められるよう努めました。

ア 会員登録状況 (各年度末現在) (単位：名)

	R1	R2	R3	R4	R5
おねがい会員	582	600	577	616	590
まかせて会員	163	152	83	83	85
どっちも会員	43	38	21	34	36
計	788	790	681	733	711

イ 活動内容集計(延回数) (単位：回)

活 動 内 容	R3	R4	R5
保育施設入所前の援助	0	10	0
保育施設入所前の援助(車あり)	0	1	0
保育施設の登園前の預かり・送り	19	8	0

保育施設の登園前の預かり・送り（車あり）	1	33	0
保育施設への送り	9	38	16
保育施設への送り（車あり）	78	85	206
保育施設への迎え	140	195	115
保育施設への迎え（車あり）	107	510	705
保育施設への迎え・預かり	22	38	104
保育施設への迎え・預かり（車あり）	50	96	44
学校・放課後児童クラブの送り	28	40	44
学校・放課後児童クラブの送り（車あり）	157	97	90
学校・放課後児童クラブへの迎え	27	3	33
学校・放課後児童クラブへの迎え（車あり）	385	310	129
学校・放課後児童クラブへの迎え・預かり	2	1	1
学校・放課後児童クラブへの迎え・預かり（車あり）	14	11	2
子どもの習い事等の場合の援助	221	55	30
子どもの習い事等の場合の援助（車あり）	500	420	316
兄弟姉妹の通院・学校行事などの場合の援助	0	14	1
兄弟姉妹の通院・学校行事などの場合の援助（車あり）	1	5	3
休日の援助	2	11	0
休日の援助（車あり）	0	16	0
子どもの病気時の援助	0	4	2
子どもの病気時の援助（車あり）	4	20	1
保護者の外出の場合の援助	96	18	0
保護者の外出の場合の援助（車あり）	11	14	0
保護者の就労（短期・臨時・求職活動等）に係る援助	34	123	66
保護者の就労（短期・臨時・求職活動等）に係る援助（車あり）	17	43	19
保護者の産前・産後時の子どもの送迎及び預かり	5	8	0
保護者の産前・産後時の子どもの送迎及び預かり（車あり）	2	68	3
その他（保護者のリフレッシュ・家事をしたい時・私用の時等）	42	75	290
その他（保護者のリフレッシュ・家事をしたい時・私用の時等・車あり）	21	38	70
合 計	1,995	2,408	2,290

ウ 会員研修の開催

これまで実施してきた行事を見直し、まかせて会員の増員と子育て支援の充実を図るため、子育て応援フォーラムを開催するとともに、活動にあたっての安全対策を中心とした研修会を実施しました。

(ア)まかせて会議（まかせて会員・どっちも会員向け研修等を定期開催）

日時・場所	内 容	受講者
9月27日(水) 9:30～11:30 北消防署	①AED講習 ②心肺蘇生法の講義とお話し	16名
10月25日午前 9:30～11:30 すこやかセンターミーティング室	自動車事故防止とリスクマネジメント	9名

(イ)会員交流会(下記)

子育て応援フォーラム「助けてほしい！助けたい！！みんなで子育て大作戦♡」として実施

(5) 子育て応援フォーラム「助けてほしい！助けたい！！みんなで子育て大作戦♡」開催

市内在住・在勤の子育て世帯、および子育て支援に興味のある一般市民等を対象に開催しました。

子育て支援団体で構成する実行委員会形式で事業の企画立案から実施までを行い、子育て家庭と支援団体がつながる場となりました。

日時・場所	内 容	参加者
令和5年11月5日(日) 8:30～16:30 小津会館	○ファミサポ登録・説明会 ○ポスター展示(子育て支援団体14団体) ○お寺でスタンプラリー	一般 113名 実行委員 8名 市社協 8名

令和5年11月12日(日) 8:30~12:00 吉身小学校体育館 *学区社協主催「福祉の心を育てるつどい」に参加	○ファミサポ登録・説明会 ○ポスター展示(子育て支援団体14団体) ○手形アート	一般 96名 実行委員 11名 市社協 4名
令和6年2月12日(月・休) 9:30~12:40 市役所 多目的ホール、防災会議室	○市長との子育て座談会 ○ファミサポ登録・説明会 ○ポスター展示(子育て支援団体14団体) ○見守り託児(学生、ボランティアに協力) ○フォーラム製作品 ○ファミサポ体験会 ○リユースの会	一般 132名 実行委員 14名 協力者 17名 市社協 6名

(6) 災害ボランティアセンター体制の整備

災害ボランティアセンター機能を強化するため、災害ボランティアコーディネーターと協働によるセンター運営の充実や防災意識を高めました。

ア 災害ボランティアセンター設置運営訓練(8/27)

イ 防災啓発活動の協力実施(守山青年会議所/駅前)(9/1)

ウ 石川県七尾市災害ボランティアセンターへの職員1名の派遣(1/28~2/3)

(7) 出前講座の実施

職員およびボランティアグループがすこやかサロンや各種団体等の研修会に出向き、出前講座を実施しました(令和4年度からボランティアグループによる出前講座は「イ相談援助および調整・紹介(イ)ボランティア活動の派遣・相談状況」に集約。)

(単位:回)

	実施内容	R1	R2	R3	R4	R5
介護事業部	介護保険を利用するには					1
	高齢者の食事について					
	脱水・熱中症について	2			1	3
	飲み込みについて					
	口腔ケアについて					
	インフルエンザについて					
	介護予防教室(転倒予防体操・運動機能向上体操等)	2			3	2
	移乗の仕方について					
	認知症を予防するには他	4	1		1	2
	住宅改修と福祉用具について					
	ヘルパーの仕事について	1				
	排泄介助について					1
	高齢者の施設について					
	床ずれの予防について					
	標準予防策(手洗い、マスクのつけ方等)					
その他					1	
地域福祉部	地域福祉権利擁護事業について		1			1
	災害ボランティアセンターについて					
	ボランティアについて					
	避難所運営ゲーム(HUG)について	2	1	1	4	4
	車いすの使用と介助の体験					
	災害被災地支援について	1				
	地域福祉活動について(助成金の活用について)			2		
	地域ぐるみの支え合いについて(見守り支え合い活動等)				1	
社会福祉協議会活動について					1	

生活支援体制事業について	7				
共同募金運動について					
高齢者擬似体験					
ボランティアグループによる出前講座	3	2	9		
その他					1
合 計	22	5	12	10	17

(8) 生活支援ボランティア活動の実施

高齢者等が安心して暮らし続けられる、福祉のまちづくりの実現を目指し、日常生活でちょっとした困りごとのお手伝いを「生活支援ボランティア」が行う支え合い活動を実施しました。

[活動概要]

活動内容	庭の除草作業、ごみ出し(不定期の大型ごみ)、電球の交換 付き添い(通院・散歩・買い物)、精米、水やり、その他
活動費	活動1時間あたり 500円 *材料費等の実費負担あり
活動時間	平日 8:00~17:00 *場合によっては土日祝も可

[令和5年度活動実績]

相談件数	20件
活動件数	11件
延協力者数	18名
利用登録者数	29名
ボランティア登録者数	11名

(9) 福祉活動推進校設置事業の実施

5校(守山小、立入が丘小、小津小、河西小、市立守山中)を推進校として指定し、福祉教育を実施いただきました。実施にあたっては、市社協が中心となり推進校と福祉団体をつなげ、学校担当者との福祉教育への認識が深く共有できました。その結果、授業内容がこれまでよりも広がりを見せ、授業を受ける前後で児童・生徒の福祉意識に変化がみられました。

なお、11/23開催のもりやま地域共生大会では3校(守山小、小津小、市立守山中)に成果発表いただきました。事業実施により、「障害には『目に見える障害』と『目に見えにくい障害』があることが理解できた」など子どもの気づきについても報告され、こうした取組を市民に知っていただくとともに、継続的な福祉教育の必要性を説明いただきました。

(10) 子ども福祉委員事業の実施

福祉活動推進校に指定した市立守山中学校で募集し、1年生の生徒2名に参加していただきました。全5回の活動を通して、福祉に対する理解を深め、地域の福祉課題について考えるきっかけとなりました。また、事業実施後には、ボランティア活動に参加していただき、継続した取組を行っています。

	日時・場所	内 容
第1回	令和5年8月5日(土) 9:00~12:00 講習室	・委嘱状交付 ・活動ガイダンス(ボランティアについて、民生委員・児童委員について、高齢者との関わり方) ・高齢者との交流会の企画
第2回	令和5年8月26日(土) 10:00~14:00 地域交流ホームゆい	・巻き寿司、豚汁づくり ・子ども福祉委員によるマジックショー、歌の披露 ・施設見学
第3回	令和5年10月28日(土) 13:00~16:00 ミーティングルーム他 令和5年10月29日(日) 9:00~10:00 吉身東町自治会館他	・1日民生委員・児童委員体験

第4回	令和5年11月23日(土) 8:00~14:00 守山市民ホール	・もりやま地域共生大会への参加、見学
第5回	令和5年12月23日(土) 9:00~10:30 講習室	・活動の振り返り ・福祉に関する仕事の紹介 ・来年度に向けて ・子ども福祉委員のグループ名選考会 ・修了証、感謝状授与

(11) シニア応援連続講座の開催

定年退職された方をはじめシニア世代の方に、元気で健康に過ごし、「地域での仲間作り」や「退職後のいきがい作り」のきっかけの一つとして連続講座を開催しました。

講座の開催結果として、以前のように60代の受講につながる事が難しい状況で、さらに幅広い分野による講座内容がかえって曖昧となり、受講者の増員につながりませんでした。

こうしたことを踏まえ、次年度では年齢層にとらわれず、「ボランティア活動に興味を持ってもらう」ような取組を紹介し、地域でのボランティア活動につながる講座を企画します。

	開催日	受講者	講座内容
第1回	10/29(日)13:30~15:00 すこやかセンター講習室	29名	これからの守山のまちづくりについて 講師)守山市長 森中 高史 さん
第2回	11/3(金・祝)13:30~15:00 地域総合センター	15名	バラスポーツ体験~ボッチャ、フライングディスク~ 講師)守山市障害者スポーツ協会(エニスもりやま)
第3回	11/11(土) 13:30~15:00 すこやかセンター講習室	13名	日頃の備え、明日からできる防災対策! 講師)県防災支援赤十字奉仕団 里内 陸美 さん
第4回	11/19(日) 13:30~15:00 すこやかセンター講習室	13名	地域への出番づくり!! 講師)関西福祉科学大学 准教授 南 多恵子 さん
第5回	11/28(火) 13:30~15:30 市立環境センター	15名	守山市の環境施設の役割と取組を学ぼう!

8 地域福祉権利擁護事業

判断能力に不安のある知的障害者や精神障害者、認知症高齢者などに対し、地域で安心して暮らせるための支援として地域福祉権利擁護事業（福祉サービス利用援助事業）を実施しました。

実施状況	R1	R2	R3	R4	R5
専門員(職員)	2名	2名	2名	2名	3名
生活支援員	12名	10名	11名	8名	8名
相談・支援活動の実施	3,767件	5,525件	6,491件	3,713件 ※1	3,825件
年度末時点の 利用契約者	65名 新規10・解除9	69名 新規20・解除16	66名 新規16・解除19	64名 新規17・解除19	65名 新規14・解除13
認知症高齢者	14名 新規5・解除6	20名 新規13・解除7	15名 新規8・解除13	15名 新規9・解除9	21名 新規12・解除6
知的障害者	23名 新規0・解除0	18名 新規1・解除6	19名 新規2・解除1	20名 新規4・解除3	18名 新規1・解除3
精神障害者	23名 新規4・解除3	26名 新規5・解除2	26名 新規4・解除4	25名 新規3・解除4	22名 新規1・解除4
その他	5名 新規1・解除0	5名 新規2・解除2	6名 新規2・解除1	4名 新規1・解除3	4名 新規0・解除0

※1 令和4年度に相談・支援活動の実施の集計方法の変更あり

9 貸付資金等相談事業

対象世帯の自立促進のため、民生委員・児童委員と連携し助言・相談・指導を行うなかで、生活福祉資金貸付制度（貸付元：県社協）の活用につなげるのみならず、関係機関と連携を密にし、他の制度利用を促しました。

(1) 生活福祉資金の貸付相談

(単位：件)

資金種類	R1		R2		R3		R4		R5	
	相談	貸付	相談	貸付	相談	貸付	相談	貸付	相談	貸付
緊急小口資金	21	10	1	1	3	2	15	5	14	9
総合支援資金	4	1	0	0	0	0	1	0	0	0
福祉資金	7	2	8	4	4	0	6	2	6	4
教育支援資金	3	1	30	18	14	7	17	14	26	18
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	36	14	39	23	21	9	39	21	46	31

※貸付件数には、県社協への申請後の取り下げ等を含んでいます。

(R5：緊急小口資金 取り下げ1件、福祉資金 不承認1件、教育支援資金 辞退1件)

(2) 生活福祉資金（コロナ）特例貸付事業利用者へのフォローアップ支援（令和5年度から）

支援区分	R5
相談（来所）	30
訪問	14
償還手続き	23
猶予申請	8
計	75

(参考) 新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金特例貸付(R2. 3. 25～R4. 9. 30)の実績

資金種類	貸付件数(件)	貸付金額(千円)
緊急小口資金	746	141,770
総合支援資金	609	327,420
総合支援資金(延長)	247	133,200
総合支援資金(再貸付)	340	181,380
計	利用767人 1,942	783,770

(3) 学区民生委員児童委員協議会による緊急一時資金の貸付（上限20,000円）

	R1	R2	R3	R4	R5
利用者（人）	7	6	2	9	7
貸付金額（円）	115,000	110,000	40,000	110,000	110,700

(4) 寄附米の支援

	R1	R2	R3	R4	R5
件数（件）	165	61	64	79	121
数量（kg）	825	305	320	395	605

(5) 心配ごと相談

[区分別相談件数]

相談内容	生計	職業	住宅	家族	結婚離婚	健康衛生	医療	人権法律	児童教育	財産
R3	17	3	5	12	4	3	0	1	5	0
R4	8	5	5	9	0	3	1	2	1	3
R5	12	3	2	13	0	0	2	1	0	2
相談内容	近所トラブル	ひきこもり	子育て	ボランティア	障がい者福祉	自治会	生活支援ボランティア	苦情	その他	合計
R3	20	3	1	2	1	7	5	3	13	105
R4	12	18	0	17	3	4	6	5	31	133
R5	9	14	0	2	3	4	0	1	25	93

10 介護保険等事業の実施

(1) 居宅介護支援事業

		R1	R2	R3	R4	R5
介護支援専門員数		5名 (常勤5名)	5名 (常勤5名)	6名 (常勤6名)	6名 (常勤5名)	6名 (常勤5名)
年間延訪問回数(回)	要支援①	239	239	251	252	152
	要支援②	245	245	250	271	267
	予防ケアマネジメント	139	139	162	129	275
	要介護①	801	801	833	997	950
	要介護②	596	560	536	537	500
	要介護③	259	244	251	291	348
	要介護④	212	229	257	192	165
	要介護⑤	76	50	73	79	104
	計	2,567	2,507	2,613	2,748	2,761

(2) 訪問介護事業

		R1	R2	R3	R4	R5
訪問介護員数		18名 (常勤11名)	17名 (常勤12名)	16名 (常勤11名)	16名 (常勤11名)	14名 (常勤9名)
年間延訪問回数(回)	総合事業	186	148	7	0	0
	要支援①	204	190	101	63	131
	要支援②	799	790	817	716	436
	要介護①	3,589	3,022	2,657	3,162	2,955
	要介護②	3,421	3,572	2,761	2,849	3,275
	要介護③	3,483	3,092	1,309	1,448	1,162
	要介護④	1,733	2,093	3,766	3,731	3,091
	要介護⑤	1,603	567	1,471	1,551	1,268
	計	15,018	13,474	12,889	13,520	12,318

(3) 通所介護事業

ア 一般デイサービス

		R1	R2	R3	R4	R5
年間開所日		352日	359日	359日	345日	356日
年間延利用者(名)		10,955	9,399	9,848	9,653	9,999
一日平均利用者(名)		31.1	26.2	27.4	28.0	28.1
年間延利用回数(回)	総合事業	0	0	0	0	0
	要支援①	0	2	0	0	0
	要支援②	0	0	0	0	0
	要介護①	3,299	2,474	2,458	2,567	2,738
	要介護②	2,611	2,172	2,478	2,040	2,088
	要介護③	2,547	2,323	2,418	2,267	2,298
	要介護④	1,550	1,633	1,405	1,829	1,719
	要介護⑤	948	795	1,089	950	1,156

イ 認知症対応型デイサービスひだまり

		R1	R2	R3	R4	R5
年間開所日		352日	359日	354日	350日	304日
年間延利用者(名)		3,087	2,878	2,406	2,713	2,721
一日平均利用者(名)		8.8	8.0	6.8	7.7	9.0
年間延利用回数(回)	要支援①	0	0	0	0	0
	要支援②	0	0	29	86	0
	要介護①	751	589	275	689	750
	要介護②	699	605	505	245	554
	要介護③	585	194	250	478	495
	要介護④	614	988	892	695	378
	要介護⑤	438	502	455	520	544

(4) 訪問看護事業

		R1	R2	R3	R4	R5
看護師数		8名	7名	7名	8名	10名
年間延訪問回数(回)	医療保険	1,307	1,725	1,999	2,282	2,130
	要支援①	262	199	275	426	481
	要支援②	342	496	557	318	663
	要介護①	1,100	1,244	1,547	2,204	2,229
	要介護②	879	777	737	1,125	1,441
	要介護③	420	130	199	370	551
	要介護④	516	820	865	738	838
	要介護⑤	598	412	367	358	150
	計	5,424	5,803	6,546	7,821	8,483

(5) 家族介護教室

介護されている家族に対して交流の機会を設けました。

期 日	内 容	参加人数
令和5年6月	ひだまり家族会	3人

1 1 障害者自立支援事業

(1) 居宅介護事業

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
年間延利用者数(名)	154	170	212	199	194
年間延サービス提供回数(回)	880	1,022	1,383	1,737	1,771

(2) 移動支援事業

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
年間延利用者数(名)	132	132	120	120	119
年間延サービス提供回数(回)	1,043	1,046	958	932	861

1 2 中部地区地域包括支援センターの受託

令和3年1月から中部地区地域包括支援センター事業（吉身学区・玉津学区）を受託し、令和3年4月1日より事業を開始しました。R5年度も吉身学区・玉津学区の高齢者の総合相談窓口として、様々な相談に対応してきました。

(1) 対応状況

(単位:件)

		吉身学区		玉津学区		その他	
		R 4	R 5	R 4	R 5	R 4	R 5
訪問（自宅）	延べ	513	779	119	125	0	0
	実	219	244	46	44	0	0
訪問（自宅外）	延べ	336	517	22	84	5	7
	実	129	186	12	38	3	5
電話・メール	延べ	3,485	4,139	763	944	63	85
	実	791	738	156	186	25	40
来所	延べ	550	510	110	149	14	56
	実	241	212	47	60	9	34
会議（センター内）	延べ	150	87	48	32	0	2
	実	64	34	13	10	0	1
会議（センター外）	延べ	38	81	5	46	0	0
	実	25	39	4	16	0	0
延べ件数計		5,072	6,113	1,067	1,380	82	150
実件数計		1,469	1,453	278	354	37	80

(2) 各種教室等

ア 出前講座

地域のサロンや人権学習等に講師として出向き、介護予防や認知症理解などの啓発活動を行いました。

出動回数(回)	職員出動延べ数(人)	参加者延べ数(人)
16	28	573

イ 自前講座

家族介護者教室や介護予防教室、こもれびカフェ（守山市みまも〜り〜のカフェ）を開催し、介護予防や介護に役立つ情報の提供、高齢者やその家族の居場所づくりに取り組みました。

家族介護教室 (すこやかセンター3階 講習室にて)	開催回数 (回)	参加者延べ数 (人)
	5	81

介護予防教室 (すこやかセンター3階 講習室にて)	開催回数 (回)	参加者延べ数 (人)
	5	43

こもれびカフェ (守山市立図書館 活動室にて)	開催回数 (回)	参加者延べ数 (人)
	12	128

ウ いきいき男性プロジェクト

「男性が気軽に参加できる機会が欲しい」という声から、基幹型地域包括・各圏域地域包括との共同企画として「いきいき男性プロジェクト」を開催しました。

開催日・場所	参加延べ数 (人)	内容
令和5年9月27日・10月25日 もりやまエコパーク交流拠点施設	21	「簡単でおいしい料理を学ぼう」